



ききょう便り

平成24年 秋号 (第31号)



デイサービスセンター岡谷 ぶどう狩り

ききょうの里と私

評議員 牧野 久子

施設の窓からの山々もすっかり紅葉に変わろうとしている季節となりました。そんな秋の夜中に、ききょうの里と私の関わりを綴ってみたいと思います。

施設を最初に訪問したのは、婦人会のボランティアでのお手伝いでした。それ以来、訪問は岡谷町の八木節と民謡でお世話になっております。

民生委員の時には、ケアマネージャーさんのお世話で、デイサービスに通っていた中の二人の利用者の方が、最期の看取りの時まで施設のお世話になり、家族の方々とともに大変に感謝いたしました。

評議員としての任期の中では、従来型の施設とは別のユニット型の施設が増設され、また従来型施設の大規模修繕も行われ、法人としての運営手腕は以前に増して多大なものになりました。中でも「ききょうデイサービスセンター岡谷」の新設は、地域にとっても私にとっても身近な存在です。

毎年3月の「岡谷町ふれあい文化祭」では、会場の一角に利用者さんの作品コーナーが設けられ、素晴らしい作品の数々に来場者一同感激しております。また、2日間にわたり、利用者の方々が見学にも見え、楽しいひとときを過ごされます。会場に用意されている施設のパンフレットは、内容を知っていただく良い機会になります。

7月の岡谷夏祭りには、皆様全員参加していただき、八木節、民謡、神輿渡御等、地域の輪を広げて下さいました。

地域社会の生活環境も、昔とは大きく様変わりし、老人介護や人生最期の看取りの問題等、昨今話題は福祉なくして考えられません。

ききょうの里という立派な福祉施設に、未熟ながらも健康でたずさわってこれたことに感謝して、筆を置きたいと思います。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

ユニット型施設って??

～介護が必要になっても、今までの生活ができる場所～

ユニットケアとは

自宅での生活に近い日常生活を送っていただく為に、10人程度のグループで、それぞれを一つの生活単位（ユニット）とし、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活を共にしながら個別ケアをしていきます。

少人数のグループ毎に職員を配置することで、一人ひとりの個性やニーズを、より具体的に把握することができます。また、利用者様が互いに人間関係を築きやすくなります。



取り組みとして

昼間の時間帯の入浴だけでなく、希望される利用者様は夜間に入浴をしていただいたり、状態に合わせて足浴も行っています。

外出行事で地元の日帰り温泉施設に出かけ、温泉入浴や観劇を楽しんだり、流しそうめんや利用者様が育てた野菜を使用してのバーベキュー等、四季を感じて楽しんでもいただけるようなユニットならではの行事を行っています。

少人数の特性を活かし、誕生会は利用者様の誕生日当日に、利用者様が希望される内容で実施するようにしています。職員がお手伝いして手作りのケーキを作ったり、外食希望の時は希望されるメニューのあるレストランに食事に出かけたり、ご家族の皆様へ施設までお越し頂いて、一緒に料理を作って楽しめる利用者様もいます。

食事は、家庭の様に、味噌汁やご飯の炊ける「におい」で生活を感じていただける様に、ご飯を炊くことと味噌汁を作ることは各ユニットで行っています。食事の配膳や後片付けは、利用者様にもお手伝いいただいて家庭のような環境に近づけています。

今後も、利用者様のご希望に応えられるような行事や取り組みを考えて行きたいと思えます。

利用者様ご紹介



お誕生日は、ご家族にお越し頂いて、一緒にお得意の「うどん作り」をしました。おいしくできたうどんは皆さんにも振る舞って楽しい誕生日となりました。



畑仕事大好きな利用者様は、毎年色々な種類の野菜を育てています。ゴーヤがたくさん収穫できました。



お花が大好きな利用者様。四季折々のお花を飾って楽しんでいます。



読書が趣味の利用者様。今でも図書館に出かけて、読みたい本を選び借ります。



見事な出来栄の「ぶどうのちぎり絵」です。以前からの趣味を継続し、入所されてからも空いた時間を利用して、少しずつ取り組まれています。



フォトアルバム(行事紹介)

季節の行事

デイ岡谷では庭で稲を育てて収穫しました。青空の下、慣れた手つきで稲刈りです。



今年も沼田東中学校の生徒さんにお手伝いいただき、りんご狩りに出かけ、実りの秋を満喫してきました。



収穫して乾燥した稲は、利用者様が手作業で脱穀です。大変な作業ですが頑張っておりました。



大型紙芝居 田村様



十五夜には、手作りの団子を作り、ススキを飾って楽しみました。



近くのぶどう園でぶどう狩り。もぎたてのぶどうのおいしさは格別ですね。



利用者様にとって、食事は大切な時間。利用者様の中には、ご自分の力だけでは食べられず介助が必要な方もいます。そういった利用者様には、職員が付き添って食事の介助をさせていただいていますが、それだけでなく周囲に目を配り、ご自分で食べている方の安全確認や食べ終わった方の下膳、その後の口腔ケアなど、少ない人数の中で目が回るほど忙しい時間帯です。

先日、ふとした事から、自分で食事をされているA様の席に、途中で食べ疲れて箸の止まってしまうB様が、同じテーブルで食事を食べる事になりました。この日もB様は、疲れてしまい食事の途中で手が止まってしまったために、食事の介助をさせていただきました。その際に、食事を食べ終わったA様が薬を飲み忘れている事に気がつき、その事がきっかけでA様との会話が始まり、食べ物の話から、戦争中の食糧難の話、最後は尖閣諸島問題まで話しが広がり「戦争を経験しているのに、縄張り争いをしているのは進歩がない。でも漁師さんも生活がかかっているし…」など、話しが膨らみました。

B様がこのテーブルに来るまでは、食事をご自分で食べられる方が集まっていたので、見守りこそしていましたが、A様と会話をする機会はほとんどありませんでした。しかし、B様が来る事でA様との接点ができ、食事中のほんの少しの時間でしたが、楽しく過ごしていただけたのではないかと思います。

これを機に、他の利用者様の食事の席も見直し、今よりも更に楽しい一日が送れるようになっていきたいと思います。



(ききょうの里 介護職員 小菅)

今年度から社会福祉施設等において、一定の研修を履修することにより、介護職員にも一部の医療的行為の実施が認められることになりました。

一部の医療的行為とは、入所されている方々に対する口腔内の痰の吸引と経管栄養の準備です。これらは医療行為であり、以前は看護職員でなければ実施することは認められていませんでしたが、福祉施設が置かれている環境から、近年の社会的な要請もあり、研修により介護職員が十分な知識と技能を修得したと認められる場合は、看護職員の指導・連携の下、実施が許されることとなりました。

ききょうの里においても、定められた研修内容に基づき看護職員による施設内研修を行い、介護職員の履修予定人員の全員が習得できたことが県により認められました。現在、深夜帯など看護職員の手薄な時間を中心に、介護職員によるこれらの医療的行為を実施しています。

看護職員と介護職員は、法の制度としては明確な区分がありますが、業務は重なる部分もあります。お互いを尊重し「ききょうの里の看護職員・介護職員」として、共通した一つの目標に向かって協働しています。私は、介護職員と連携することによって相乗効果を出すことができれば看護・介護の質が向上し、施設のチカラを発揮させることができると思います。

今回の介護職員による医療的行為実施にあっても、お互いに良きパートナーとして協力し、もちろんトラブルなどが発生することのないように知識・技術に磨きをかけていかなければなりません。そして、利用者様、またそのご家族様に、「ききょうの里で良かった」の一言を言っていただけるよう頑張っていきたいと思っております。

(ききょうの里 看護職員 小野里)



職員紹介

この職に就いて

私がききょうの里に就職してから、早くも3年になろうとしています。

私は、看護職員としての実務経験が少なく、看護の知識や技術に自信がありませんでした。就職した当初は、看護職員として職場の先輩方や利用者の皆様にご迷惑をお掛けしてしまうのではないかと、とても不安でした。しかし、職場の先輩からは一つひとつ丁寧に指導していただき、また利用者の皆様からは、あたたかいお言葉や笑顔をいただき未熟ながら何とか頑張ってきました。

昨年の7月から、デイサービスセンターへ異動となり、利用者様やご家族の皆様と接する機会が多くなり、様々な思いを感じ、一人ひとりにどう関わっていけば良いのか常に考えながら仕事をする日々です。デイサービスセンターは行事も多く、日によって利用者様も違うので大変ですが、やりがいがあり、病院では体験できないような貴重な体験をさせて頂いています。



利用者の皆様から笑顔をいただくと、この仕事をしていて良かったとつくづく感じます。これからも、利用者様が笑顔で元気に生活していけるよう、一人ひとりにあったケアを心掛け、日々努力していきたいです。



看護職員
笛木 真人



聞こえた！

高齢になるにつれ、耳が遠くなる方が多いです。スムーズな会話のためにと、ケアマネの教科書には要旨こんな事が書かれています。



- ・高齢者は高音が聞き取りにくくなるので、できるだけ低い声で話をしましょう。
- ・張りのある声も意外と聞きにくいので、耳の側でボソボソと言うような感じで話しましょう。
(確かに、カラオケで鍛えた嫁さんの甲高い声は聞こえないのに、ため息混じりのつぶやき・ぼやきは聞こえるんですよ。元祖「ツイッター(つぶやき)」⇒高齢者本人に聞くと「太鼓の音が連打してるような感じで何言ってるのか分からない。」とのこと。)
- ・大勢の人がいるところでは聞きづらいので、大事な話をするときは、静かな所で、口の動きがよく分かるように対面してゆっくりと話しましょう。(変な比喻ですが、子どもがTVアニメに夢中になってご飯をこぼしながら食べていて、母親が叱っても無視して見入っている、コマーシャルになると話が通じるーというようなことがあります。原理は同じです。女性陣は包丁を使いながら、テレビ見ながら、亭主や子どもに話しかけることができるんですけど、男衆は運転中に話に夢中になると道間違えますから…)

先日、難聴の方と試しにほっぺたをくっつけて話をしたら「好く聞こえた」との感想でした。ちなみに声は鼓膜を通じて聞こえる通路(空気伝導・気導音)と骨を通じて聞こえる通路(骨伝導・骨導音)があります。録音された自分の声に変な風に聞こえるのは、気導音と骨導音が混じっているからです。

会話は活力の元です。口が錆びると頭のネジも錆びます。年だから仕方ないと諦めず、専門医にかけ、早めの対応をしましょう。
(介護支援専門員 大平)

☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

11月 紅葉ドライブ(6・7・8日)

作品展(11月25～12月1日)

12月 クリスマス誕生会(下旬)

1月 書き初め大会(月上旬)



☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

11月 誕生会(18日)

12月 餅つき(月上旬)

そば打ち・誕生会(中旬)

1月 新年会(1日)

☆ききょうデイサービスセンター岡谷

11月 紅葉狩り(月上旬)

12月 餅つき(中旬)

忘年会(下旬)

1月 新年会(月上旬)



◇◇編集後記◇◇

猛暑の夏が過ぎ、季節は一気に晩秋を思わせるような寒さになり、体調管理が難しい今日この頃です。

「秋の日はつるべ落とし」と言いますが、あつという間に日が暮れ、帰る頃には真っ暗で、何だか気ぜわしく感じてしまいます。

さて、今年も芸術の秋にふさわしく力作揃いの「ききょうの里作品展」を11月25日～12月1日まで開催いたします。日頃、利用者様がレクリエーション等で取り組まれた作品を是非ご覧下さい。

多くの皆様のお越しをお待ちしています。

(総務 中山)

